



3年学年だより

発行日：平成 30 年 9 月 28 日（金）

発行者：横浜市立南高等学校附属中学校

校長：磯部 修一

NO. 5

開校記念日に寄せて

校長 磯部 修一

横浜市立南高等学校附属中学校は平成 23 年 10 月 1 日に創立され、開校記念日は 10 月 1 日とされました。その開校記念日が近づいて来た今回の学年だよりでは、本校の開校までの経緯を少し書くこととします。

平成 21 年 11 月に横浜市教育委員会が「横浜市立中高一貫教育校の設置に関する基本方針」を発表しました。その中では、経済的に負担の少ない、公立の中高一貫教育校を、という市民のニーズに応えるために、平成 24 年度に南高等学校に附属中学校を設置して、併設型の中高一貫教育校として開校する旨が述べられています。

平成 22 年 5 月には横浜市教育委員会が「横浜市立中高一貫教育校基本計画」を策定し、その中で市立の中学校や高等学校に加えて市立中高一貫教育校という新しい選択肢を市民に提供するために設置し、6 年間の安定した環境の中で、計画的・継続的な教育活動を展開し、横浜はもとより国際社会で活躍する志の高いリーダーとなる人材の育成を目指すとしました。

平成 23 年 4 月に開設準備室が南高等学校内に設置され準備を開始しました。

平成 23 年 5 月に「横浜市立学校条例」の一部が改正され、本校の開校が正式に決定しました。

平成 23 年 10 月 1 日に本校が開校し、平成 24 年 4 月 1 日に 1 期生が入学して、次のように本校への期待が込められた開校宣言がなされました。

開校宣言

平成二十四年四月一日をもって

横浜市立南高等学校附属中

学校を開設します

横浜市立南高等学校との一貫

教育により、高い学力と豊かな人

間性をはぐくみ、高い志と幅広い

視野をもって世界で活躍できる

人間を育成する中学校として

発展することを期待し、ここに

開校を宣言します。

平成二十四年四月一日

横浜市教育委員会

今後も高い学力と豊かな人間性をはぐくみ、世界で活躍できる人材の育成を目指して職員一丸となって学校づくりを進めます。

大成功！南高祭～展示の部～

3日間にわたって行われた「南高祭」。どうしたらお客さんに楽しんでもらえるだろう？限られた時間の中で生徒たちは精一杯知恵をしぼり、クラス一丸となって素晴らしい展示を作り上げました。苦労したこと、嬉しかったこと、感動したこと……。たくさんの生徒の感想の中から、ここに一部を紹介します。

3年1組

- ◆ 私は人に頼ることが下手だ。自分の中でこうしたい！という理想を持っているのにそれを相手に上手く伝えられないし、自分が把握しきれていないことがあるのがあまり好きではなくて、色々なことに首をつっこんで1人で勝手に抱え込んでパンクするのが今までのオチだった。でも委員長の仕事は自分だけでどうにかできるものではなく、たくさんの人が気にかけて手伝ってくれたり、助言をくれたりしたおかげでやりきることができた。今回は優しい人たちが周りにいたからやりきれたけれど、本来だったら自分で考えて動いて頼んだりしなければならぬのだなと終わって感じた。また、そういった自分自身の反省だけではなく、委員会としての課題、反省も多くあったから来年度以降にしっかりとそれを繋げていきたいと思う。それも委員長としての仕事というか役目だと思うから、やりきりたい。本当に楽しかった！！支えてくれた方々ありがとうございました！！（1組女子）
- ◆ 展示の部では、ルールの範囲内でできるだけクラスのみんなのやりたいことを実現できるように、案を練ったり、作業している人のサポートをしたりした。当日学校にいれないから準備に全力で取り組んだ。全力でクラスを引っ張ろうとしたらそれについてきてくれる人がちゃんといて嬉しかったし、最後は楽しいクラス展示ができてよかった。全力で向き合うことが大事だと今年も実感した。委員は3年目だったけど、新しくやることも経験を生かせることもそれぞれ沢山あって楽しみながらできた。舞台の部めちゃくちゃ楽しかった！ずっと叫んでいたから喉がやばいです！みんなを巻き込んで盛り上げられるようになりたいです！（1組女子）



3年2組

- ◆ クラス展示の準備はなかなか完成せず、最初はとにかく不安だった。しかし、出来上がった『人星ゲーム』はこの上ないくらい良い出来で、お客さんも列を折り返して階段まで並んでくれたことがとても嬉しかった。作業中は各々ができるところで輝けていて、その仕事を自慢できるくらいそれぞれが誇りを持っていたことが印象的だった。それらを上手く組み合わせ一つのものにできたということは「Share House」に一步近づけた証だと思う。私は掃除で2組の良さを見つけられた。10日にみんなで片付けをしたときには、「やる」と決めたらみんな自分の仕事を探し、声を掛け合いながら驚異のスピードで進められた。私は人星ゲームが完成した時よりも感動した。この切り替えの速さややるときの集中力は今後も続けていきたい。（2組女子）
- ◆ 今年の南高祭は例年よりクラス全体の矢印が一つの方向に向かったイベントになったと感じている。話し合いからそういう雰囲気はあった。みんなが何をどういう風に決めるべきで、後回しにすべきなのはどれなのか、わかっているようだった。話し合いは信じられないくらいスムーズに進んだ。そのおかげで、クラス展示の準備は夏休み明け初日から始められた。準備期間でもクラスのまとまりが感じられた。朝早く、夕方遅く、何人かは夜遅くまで仕事をしてくれたり、自分の仕事が終わればすぐに自分で新しい仕事を見つけたり、他の人を手伝ったり、委員にできることを聞きに来てくれたりと、みんな意欲的だった。クラス全体でとことん突き詰めて、最終的には『人星ゲーム』という夢のような空間ができた。片付けのときに寂しくなるほどだった。最後まで妥協せず、クラスのために一生懸命に働いてくれたクラスのみんなに感謝したい。（2組男子）



3年3組

- ◆ 今年の南高祭は、今まで以上に積極的に参加することができたと思う。今年は、中学生としては最後の南高祭で、テーマは今まで自分たちが習ったことの発表でした。自分たちはその中で、直近で習った事、松尾芭蕉をテーマに展示をつくりました。その作業の中で思ったことは、展示の委員さんのような人がいることで、南高祭は成功するという事です。成功するというのは、お客さんには楽しんでもらい、自分たちも満足するという事だと思います。出し物をやる以上、お客さんを楽しませるということは前提として、自分たちも満足するという事は容易なことではないと思います。これを達成するためには、展示の委員さんのようなまとめ役が、資材を買ってきてくれたり、話し合いを進行してくれたりすることで、自分たちが満足する展示をつくるのが大切だと思います。この作業は、展示を成功させるためには不可欠なことです。展示の委員さん、お疲れさま、そして、ありがとうございました。(3組男子)
- ◆ 今年の南高祭は、中学3年間の中で特に楽しめたと思う。特に、クラスの展示内容が、本当によく考えられているなど感じ、展示の委員さんや拡大委員さんが、休み時間や放課後の時間を割いて展示内容を考えてくれたおかげだと思う。そして、クラスの全員の案を無駄にしないよう全力で協力できたと思う。今年は例年より準備時間が少なく、最初は完成するか自信がなかったが、委員の人が適宜指示を出し、全体の方針を具体的に示してくれたおかげで効率よく進められたと思う。また、片付けも朝学活前にはすでに始まっており、時間的にも余裕ができた。来年は高校生になり、さらにレベルアップした展示ができるよう、今回学んだことを忘れずに、しっかり活かしていきたい。(3組女子)



3年4組

- ◆ 正直、最初はうまく展示が成功する気が全くせず、意見がまとまらないのも心配だった。途中は少しずすぎすしてしまったこともあった。でも本番が近づき、「STAR MARS」をやると決まってから、だんだんとクラスが1つになって、この展示を成功させるためにまとまっていくのがわかっていき、それがすごくわくわくした。私は早退してしまってみんなより貢献度が少ないかもしれない。それは本当に申し訳ない。だけど、家で謎を考えたり、やれるときにがんばることをがんばった。当日は好きなところを好きなようにまわって、感心して、友達が来てくれて、食券に並んで、シフトをして、すごく楽しかった。南高祭はすごいと思ったし、ここに入学できてうれしいと思った。あと3回しかない。さみしいけれど、あとの3回もちゃんと、さらに上を目指してみんなでがんばりたいと思う。(4組女子)
- ◆ 今年の南高祭で私が一番心に残ったのは、展示の部だ。中学3年生は「今までに学んできたことを生かした展示」という抽象的なテーマを形にしなければならず、草案の状態から意見の衝突が起きたり、まとまらなかったりした。その時に展示の部委員さんたちが、みんなの話を聞いて一つの方向に誘導してくれたり、案を出してくれたり、色々な工夫をしてくれた。原案が決定してからはクラス全員で協力しながら展示を作り上げることができた。上手いかわからないときもあったが、知恵をしぼって何とか乗り越えてきた。私はあまり目立たない役でクラスに貢献できたのかわからないが、自分に与えられた役割に一生懸命取り組んだ。本番はたくさんのお客さんに来ていただき、頑張った良かったなと思った。クラスの手伝いをするのはあまりできなかったが、ホワイトボードに書かれた感想を見て本当に嬉しくなった。来年は高校生として完全に自由な展示をすることになる。自由な分、考えたり、工夫したりするのが多くなるので、積極的に意見を出して良い展示を作っていきたい。(4組女子)



いよいよカナダへ



中学校生活最大のイベントともいえるカナダ研修旅行（10/2-10/8の5泊7日）へまもなく出発します。南高祭からカナダへ気持ちを一気に切り替え、着々と準備を進めています！

- ◇ 9月13日（木） 外部講師によるカナダ研修旅行へ向けたコミュニケーションセミナー
- ◇ 9月15日（土） しおりの読み合わせ、生徒保護者合同説明会
- ◇ 9月25日（火） カナダ研修旅行事前学習会パートⅠ（EGG）
- ◇ 9月27日（木） カナダ研修旅行事前学習会パートⅡ（実行委員会主催）
- ◇ 10月1日（月） 結団式

コミュニケーションセミナー



事前学習会パートⅠ



事前学習会パートⅡ



今回のカナダ研修旅行でお世話になる添乗員の徳本さんから、日本と外国の文化の違いや、現地の方々とコミュニケーションをする上での大切な心得などを学びました。

「観光食事」「文化歴史」「気候地理」「言語習慣」の4つのテーマについて、各自が調べたことをフリップにまとめ、おたがいに発表し合う活動を行いました。

実行委員会が企画運営を行い、旅行のスケジュールや、現地で使える英会話、気をつけたいマナーなどを、スライド資料や劇などを交えて南高ホールで発表しました。

◎3年生対象 平成30年度 全国学力・学習状況調査の結果

平均正答率（％）

	国語A (知識)	国語B (活用)	数学A (知識)	数学B (活用)	理科
本 校	92.8	85.6	91.9	85.0	87.8
全国（公立）	76.1	61.2	66.1	46.9	66.1

3年生を対象として4月17日（火）に実施された、平成30年度全国学力・学習状況調査の結果をお知らせします。実施された国語・数学・理科の3教科において、平均正答率は全国（公立）を大きく上回る結果となりました。返却した個人票によく目を通し、間違えた問題は必ず書き直しをしておきましょう。調査問題は国立教育政策研究所のホームページからダウンロードすることができます。中学校3年間で学習した内容を振り返り、高校進学に向けて土台をしっかりと固めていきましょう。